

2005 5 May

平成17年5月1日発行
第544号



SAKURA



SUGI



UGUISU

い し か わ

C O N T E N T S

町が好き、人が好き、みんなで作る町が一番好き	みんな子どもが大好きだから	2
町職員の人事異動	石川町次世代育成支援行動計画	7
合併50周年記念特集		8
街かど探検隊・カレンダー		10
こんにちは・みんなの広場		12
生涯学習コーナー、ほか		14
国保だより、ほか		15
小さな美術館、ほか		16





みんな子供が大好きだから



保育所、小学校、中学校そして町中の子どもたちの姿が減ってきています。

年金、医療、福祉問題。「少子化だから」という言葉だけでは語りつくせないほど、さまざまな弊害が起こっていることも懸念されています。

若者たちの間でも「子どもを育てる環境」「子どもを育てる不安」「経済的な問題」とさまざまな問題がさかさまにかれこえています。

「子供が大好き」「子どもはかわいらしい」と思うことは私たちみんな一緒の気持ちです。次世代を背負っていく「いしかわっ子」を元気で健やかに育てるため、みんなで考えてみましょう。



親子が安心して集える 場所と機会の確保を

石川町民生児童委員協議会 主任児童委員
石川町次世代育成支援行動計画 策定協議会委員

田中登美子さん

近年、社会経済情勢の進展とともに、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。

核家族の進行、生活様式の変化とともに家族での会話不足、地域で子どもを育てるといった療育機能の低下、そして少子化による子どもの遊びの変化。

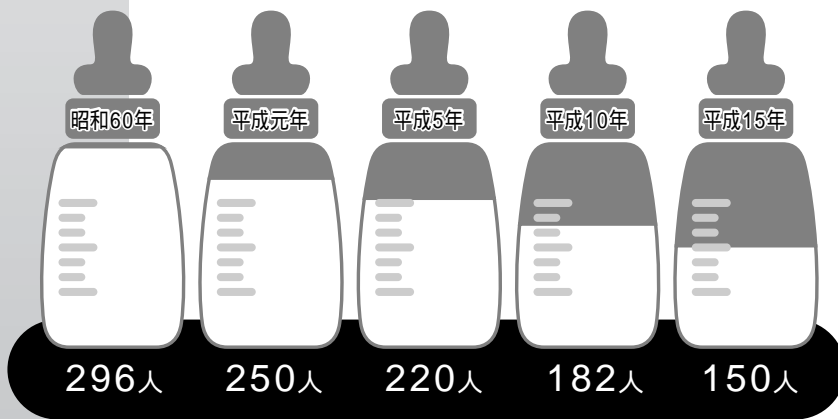
子どもは友達と遊び、家族と話しあい、幅広い年代の人と交流することで自主性や社会性が養われるものです。そして親も、子どもを通して育児や教育に関して相談や勉強、地域との交流などが図れるといった側面ももっています。

子どもも親も、さまざまな人々が気軽に安心して集い、語らい学べるそんな「交流の場」の確保が望まれています。

元気な産声 20年間で半分

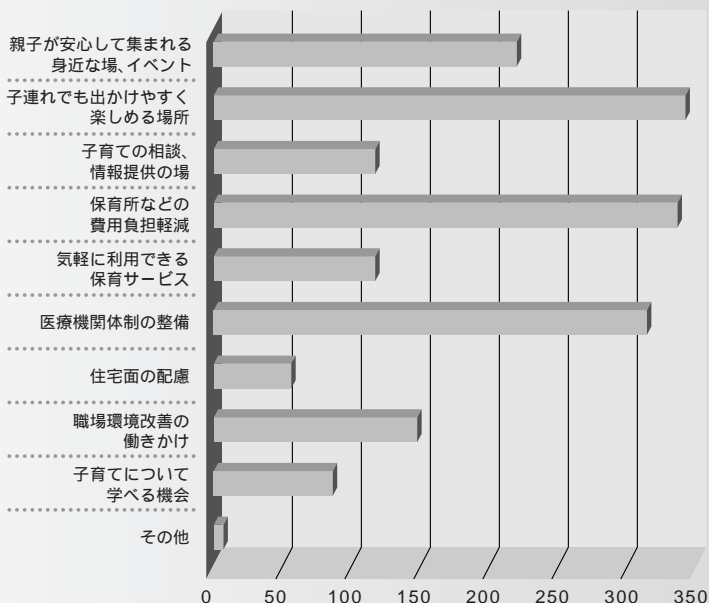
昭和60年頃までは、石川町に一年間で約300人の子どもたちが産声を上げていました。出生数は年々減少し平成15年の1年間の出生者数は150人約半数まで落ち込みました。

総人口に見る出生者の割合（人口÷その年の出生者数）は昭和60年では73人に1人、平成15年では129人に1人となっています。

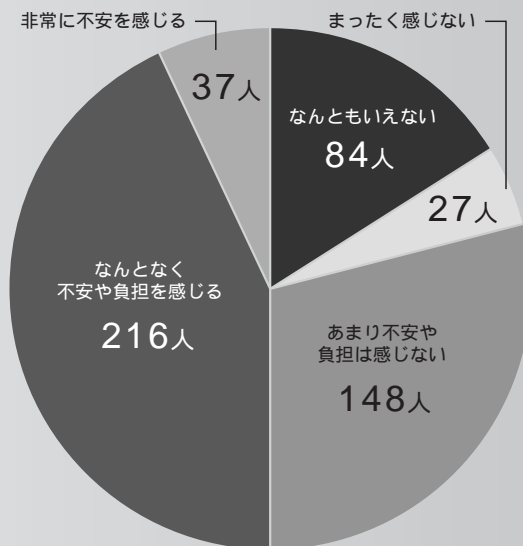


石川町年間出生者数

Q どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか？



Q 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか？



平成15年11月「石川町次世代育成支援行動計画」策定にあたって調査した数字です。



母子の健康安心ですか

子どもの健やかな成長を促すためには、充実した保健・福祉・医療体制が最も重要です。母親の妊娠・出産から新生児期・乳幼児期を経て学童・思春期を迎えるまで、一貫した健康管理システムが構築されていることが望ましい姿です。そのためには、保健福祉、保育所、幼稚園、小・中学校のそれぞれが情報を提供しあい、健康管理面でのつながりが途切れることのない体制づくりを進めていく必要があります。

親と子の健康づくり

子供が健やかに生まれ育つまち

町では、平成9年度に「子どもが健やかに生まれ育つ石川町」を進める指針となる「石川町母子保健計画」を策定し、母子保健水準のさらなる向上と、地域の状況やニーズに応じたサービスの下で、誰もが安心して妊娠・出産・育児ができる体制づくりに取り組んできました。

また、障害のある子どもへの支援としては、子どもの疾病や障害の早期発見・早期治療に努めるとともに、保護者の不安や悩みを軽減していくため、療育事業や相談事業を充実し、安心して子育てができる支援体制の整備を図り、誰もがハンディキャップを感じずに生活できるまちづくりを推進していきます。

1 安心して出産できる保健事業の充実

母子健康手帳の交付と情報提供の充実
これから出産を迎える方の健康状態や過ごし方の情報提供や健康相談を行います。

両親学級の充実
初めての妊娠、出産を迎える夫婦に、不安の解消と夫婦協力の意識を醸成します。(パパママクラブ) 訪問、相談事業の充実
出産やその後の育児不安を解消するため訪問指導や育児相談、情報提供を行います。

妊婦健診の充実と受診率の向上
妊娠期の体の変化による不安や悩みを解消し、疾病や異常の早期発見と保健指導を行います。

2 子どもの健康づくりと疾病予防の推進

乳幼児健診の充実と受診率の向上
子どもの発達・発育の確認と共に疾病の早期発見、予防の指導、栄養、保健指導を行います。(3〜4ヶ月健診など)

予防接種事業の推進
法定に則った疾病予防と予防接種に関する正しい情報提供を行います。



歯科指導、食育等の推進
乳幼児期に最も多い病気「むし歯」の予防と歯の磨き方の指導と基本である「食」の学習機会と情報提供

3 小児医療体制の充実

供を行います。(よいこのびかぴか教室・食生活健康教育など)

保健・医療、福祉、教育関係の連携
各関係機関が連携し、より充実した療育支援体制の構築に努めます。

また、障害のある子どもと早期からの療育体制の充実のため関係機関との連携を図ります。

小児医療の充実
小児医療の充実、確保に努めます。

休日・夜間診療体制の整備
診療時間外の小児急患体制の整備や救急医療体制の整備充実に取り組みます。

周産期医療との連携強化
危険度の高い母体や新生児に早期から対応するため周産期医療の充実と関係機関との連携を強化します。



▲二人で協力してお風呂に入れました

「実感とうれしさがわいてきます」

相楽 智典さん・厚子さん

パパママ教室にきました。
初めての出産でまだまだどうしていいのかわからないことが多いです。超音波で子どもの姿を見たり、夫婦で話をしたりすることで少しずつ実感とうれしさがわいてきています。

このような教室に参加すると勉強になるし、不安も解消されるのでどんどん参加していきたいですね。



「やっぱり安心しますね」

遠野 洋恵さん・将樹ちゃん

3~4ヶ月児健診にきました。
内科健診や脱臼健診、生まれてから初めての検診なのでやっぱり不安な面も多いですね。

保健師さんは話しやすいので安心して相談できます。



▲聴診器にちょっと緊張気みです。



▲お母さんといっしょに楽しみました。

「ストレス解消になります」

滝口 寿子さん・寛也ちゃん

今日はひまわり教室にきました。家の近所には同年代の子どもや遊び場がなく、この教室で同じ悩みを持つお母さんたちと情報交換などが出来るので楽しいですね。

また、小さなことでも保健師さんに気軽に相談できるので助かっています。

子どもと二人でストレス発散していきます。



保健師 渡部真理子

「ぜひ保健センターでおこなっている健診や教室などに参加して下さい。お待ちしております。」
「気持ちは軽くなった」、「こんな方法もあったんだ」と思えるように開催しています。私たちもお父さん、お母さんと一緒に子どもが元気に育っていくために、大事なことは何か、必要なことは何か、考えていきたいと思っています。」
保健センターでおこなっている健診や教室は子育てや子どもの健康について「こうすればいいんだ」と気づける場です。子育て中のお父さん・お母さんがほかのお父さん、お母さんや私たち保健師と話しをすることで、「気持ちは軽くなった」、「こんな方法もあったんだ」と思えるように開催しています。私たちもお父さん、お母さんと一緒に子どもが元気に育っていくために、大事なことは何か、必要なことは何か、考えていきたいと思っています。」

**妊娠・出産・育児
一緒に考えてみませんか**



石川町 次世代育成支援 行動計画を策定

本町では、平成13年3月に策定した21世紀にふさわしいまちづくりを推進するための指針「石川町第4次総合計画 キララ21プラン」を策定し、人にやさしく健康で安心して暮らせるまちを基本目標の一つに掲げ、少子化対策を推進してきたところですが、さらに、国の行動計画策定指針や二一調査の結果などを参考にしながら、現在実施しています保育サービス、母子保健事業、青少年の健全育成活動等の充実を図る「石川町次世代育成支援行動計画」を策定しました。

計画策定の趣旨

近年、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。特に全国的な出生率の低下に見られるように、わが国の少子化は急速に進んでおり、本町においても例外ではありません。このような環境が、子ども同士との交流の機会を減少させ、子どもたちの自主性や社会性を育ちにくくしていると指摘されています。

また、一方では、将来的に若い世代が負担する社会保障費用が増大するとともに、社会の活力が低下するといったことも懸念されています。少子化の背景には、仕事と子育ての両立の難しさや、子育てに対しての精神的・経済的な負担感の増大などがあると考えられます。こうした

要因を取り除き、行政、地域、企業などがそれぞれの役割を担いながら安心して子育てができるまちづくりを進めていきます。

計画の基本理念

国が示す行動計画策定指針では、その基本理念として「父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭その他の場において、子育ての意義についての理解が深められ、かつ、子育てに伴う喜びが実感されるように配慮して行なわなければならない」と明記されています。

さらに、計画策定にあたっては、次の8つの基本的な視点が示されています。

- 子どもの視点
- 次代の親づくりという視点
- サービス利用者の視点
- 社会全体による支援の視点
- すべての子どもと家庭への支援の視点
- 地域における社会資源の効果的な活用の視点
- サービスの質の視点
- 地域特性の視点

これに基づき、石川町では、地域の住民の協力・連携を最も重要なものとして、「安心して子育てできるまちづくり」を基本理念としながら、子どもを育てる環境と子どもが育つ

環境を整備し、子育てに喜びを持つことができ、親が親として育ち、子どもたちが家族や友だち、地域とのふれあいの中で、元気で明るく育つまちづくりを目指すものです。

施策の体系

親と子の健康づくり
誰もが安心して妊娠・出産・子育てできるよう保健・医療体制の充実に努めます。

子育て支援の体制づくり
町民の方々の声を聞きながら、複雑化・多様化する子育てニーズに対応するサービスを効果的に提供していきます。

子育て家庭への経済的支援
各種制度の充実を図り、子育ての経済的負担の軽減に努めます。地域における子育て支援の充実が子育ての基本的な役割を十分果たせるよう支援していきます。

子どもの健全育成と教育
教育の充実を図りながら、学校・家庭・地域の連携を強化し、社会全体で子どもの健全な成長を見守り、子育てを支援していきます。

広報いしかわでは、「次世代育成支援行動計画」について上記施策の体系にそってお伝えします。

町職員の人事異動

担当職員が変わりました

町では4月1日付で職員の定期異動を行いました。また、3月31日
で4名の職員が退職することになりました。

異動した職員は次のとおりです。なお、()内は旧所属です。

行政改革推進室 係長・根本克彦 昇任
総務課 課長補佐・吉田純治(課長補佐兼財政係長)、課長補佐兼財政係長・庭野英宏(石川地方生活環境施設組合派遣)、主査・矢吹進(産業振興課)、主事・西牧佳子(企画調整課)

企画調整課 課長補佐・小松弘喜(行政改革推進室) 昇任、主任主査兼企画係長・添田祐司 昇任、主任主査・曲山孝子(会計室)

税務課 主幹兼課長補佐・芳賀真一(教育課)、課長補佐兼管理納税係長・丹内真紀(税務課長補佐)、主査・鈴木則夫(総務課)、主査・佐川正人(山橋

地区公民館) 主事・三瓶桂治(町民生活課) 町民生活課 主幹兼課長補佐兼環境対策係長・南條武義(簡易水道担当・主幹兼次長)、課長補佐兼町民係長・荻野次男(中央公民館副館長)、主任主査兼生活安全係長・橋本亀 昇任、主任主査兼国保年金係長・吉田浩子(議会事務局)、主査・高原茂(保健福祉課)、主査・草野智子 昇任

保健福祉課 課長兼保健センター所長・渡辺郁男(中央公民館長兼歴史民俗資料館長)、主事・渡辺茂幸(教育課)、主事・清水元(税務課) 産業振興課 主査・志賀幸雄(税務課)

主査・吉田慶司(中谷地区公民館)、主査・江尻勝博(税務課)

都市建設課 課長補佐兼維持係長・鈴木正博(町民生活課)、主任主査・近内恵美子 昇任

会計室 主査・添田美恵子(町民生活課) 養護老人ホーム 團長・遠藤秀道(総務課) 昇任、主事・草野竜彦(保健福祉課)、主任主査兼生活援助長・阿部ナ

力子 職名変更、主任主査兼生活援助員・鈴木千代子(石川小学校)、主任主査兼生活援助員・須藤幸枝(野木沢小学校)、主任主査兼生活援助員・緑川秀子(母畑小学校)、主任主査兼生活援助員・緑川恵子 職名変更、主任生活援助員・長田禮子(中谷第一・第二小学校給食共同調理場)、主任生活援助員・中村孝子 職名変更

簡易水道担当 主幹兼次長・近内康(都市建設課) 昇任

教育課 課長・矢内秀明(養護老人ホーム長生園長)、主幹兼課長補佐兼総務係長・長沼晴久(課長補佐兼文化振興係長兼温水プール所長) 昇任、課長補佐兼文化振興係長兼温水プール所長・渡辺健一(町民生活課)、主査・渡辺幸生(養護老人ホーム長生園)、主事・小針雅也(産業振興課)、主任技能手(温水プール担当)・渡辺ミサ子(町史編纂室)、主任技能手(町史編纂室)・薄井茉莉(総務課)

中央公民館 館長兼歴史民俗資料館長・瀬谷寿一(企画調整課) 昇任、主任主査兼係長・野崎昭二 昇任、主任主査兼係長・富岡正幸(沢田地区公民館)、係長・近内栄晴(母畑地区公民館)、主査・蘆谷哲男(野木沢地区公民館)

歴史民俗資料館 歴史民俗資料館副館長兼中央公民館副館長・芳賀光二(歴史民俗資料館副館長)

議会事務局 議事係長・増子信雄(町民生活課)

第一保育所 主幹兼所長・板橋重徳(沢田・中谷児童館長を解く)、主任主査兼主任保育技師・大和田和子(山形保育所)、主任主査兼主任保育技師・西間木朋子(野木沢幼稚園) 昇任、主任主査兼保育士・増子キミ子(外楨保育所)、主査兼保育士・湯沢千春(第二保育所)、主査兼保育士・鈴木正子(新田保育所)

第二保育所 所長・佐久間作代子(山形・板南保育所長を解く)、主任主査兼主任保育技師・十文字美津子(板南保育所)、主任主査兼主任保育技師・熊井トシエ(母畑保育所)、主任主査兼主任保育技師・南條ヒナ子(谷沢保育所)、主任主査兼保育士・角田郁子(中谷児童館)、主任主査兼保育士・二瓶美恵子(野木沢保育所)、主任主査兼保育士・瀬谷幸子(沢田児童館)、主査兼保育士・緑川順子(板南保育所) 所長・團谷美幸(外楨・新田保育所長を解く)、主任主査兼主任保育技師・南條みち子(中田保育所)、主査兼保育士・吉田順子(第二保育所) 沢田児童館 館長・鎌田寿美子(母畑・中田・谷沢保育所長)、主任主査兼児童厚生員・近藤トシ子(谷沢保育所)、主任主査兼児童厚生員・近藤ふち子(野木沢幼稚園) 学校 (野木沢小学校) 主任調理師・秋山幸子(石川中学校)、(母畑小学校) 主任調理師・佐藤幸子(石川小学校) 石川地方生活環境施設組合派遣 味戸芳彦(税務課) 社会福祉法人石川福祉会派遣 宗形兼徳(教育課) 退職者 遠藤正雄(保健福祉課)、我妻須美恵(養護老人ホーム長生園)、志賀カツ子(養護老人ホーム長生園)、添田ヒツ工(野木沢小学校)

助役に 板橋 幸一さんが就任



3月定例会において、助役に、板橋幸一さんが同意され4月1日に就任しました。

板橋さんは、昭和16年生まれの63歳。県立石川高校を卒業後、町職員に採用され昭和58年から建設課長、総務課長、企画財政課長などを歴任し、平成14年10月から収入役に就任、町出納事務の責任者として幅広く町政発展に尽力されてきました。

今後も町長の補佐役として今までの豊富な行政経験を生かし、更なる町政発展のためご尽力いただくこととなりました。

6つの光を

石川町合併
50周年
記念特集

昭和30年
3月31日合併

旧母畑村

人口2,692人 / 戸数460戸
面積18.31km²

明治22年母畑村、湯郷渡村、北山村の3か村が合併。母畑温泉は、江戸時代から近隣の人々の湯治場として栄え、交通網の発展に伴い多くの人々が訪れています。また水力発電に格好の立地条件を備えていたため、須賀川周辺の産業への電力供給源である母畑水電が作られました。



旧中谷村

人口4,243人 / 戸数674戸
面積27.70km²

明治22年谷地村、坂路村、谷沢村、形見村、双里村、中田村の六か村が合併。御齊所街道に沿って開けた土地と、山間地から形成され、養蚕、葉煙草、稲作が盛んでした。特に養蚕は郡内屈指の生産量を誇り、製糸工場もありました。



旧山橋村

人口3,447人 / 戸数513戸
面積26.30km²

明治22年山形村、南山形村、北山形村、板橋村、山白石村の五か村が合併。明治26年に山白石村が分村しました。山間地が多いため秋蚕、葉煙草、馬の飼育が盛んでした。



秘めた原石が 集まった

旧石川町とそれを囲む沢田、山橋、中谷、母畑、野木沢の5村は、隣接する他のいくつかの村とともに、石川地方の中核的地域としてまとまりを持っていました。以前から合併が望まれている中、合併促進法により全国的に合併の気運が高まってきました。石川地方でも町村民によりさまざまな意見が出され検討した結果、1町5ヶ村が大団結し昭和30年3月31日、新しい石川町が誕生しました。

旧野木沢村

人口2,722人 / 戸数427戸
面積10.95km²

明治22年3か村が合併。中野村の「野」、曲木村の「木」、塩沢村の「沢」を組み合わせ野木沢村となりました。大正5・6年頃から鉱物が産出され、以降、良質の地下資源「長石」を求め人が集い、水郡線の開通と相まって採掘事業で村の経済を大いに潤していました。



旧石川町

人口8,873人 / 戸数1,690戸
面積17.12km²



明治7年に江戸時代以来の高田村、下泉村、外楨村、内楨村の四か村が合併。明治27年、町政が施行され、県内では福島町、郡山町など20町に続く21番目の町となりました。郡役所が置かれ、石川郡産馬組合、石川郡蚕糸組合など産業の起点、そして流通、経済の中心地として発展しました。

旧沢田村

人口3,326人 / 戸数510戸
面積16.10km²

明治22年沢井村、赤羽村、新屋敷村の3か村が合併。養蚕、稲作が盛んでした。特に桑苗の生産高は、全国屈指で沢田中学校の校章には桑の葉を図案化したものが使用されています。



現在の石川町

人口18,871人 / 戸数5,558戸 / 面積115.71km²
(平成17年3月31日現在)



か ど 探 険 隊

取材します！身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



石川駅にSLがやってきた

3月12日、JR磐城石川駅に蒸気機関車C11型SLがやってきました。このSLは、JR只見線で行われるイベントで走行するため、水郡線を経由して運ばれました。普段は、東北本線を経由して運ばれますが、小山駅で構内工事が行われているため今回初めての石川町を訪れました。この日、駅には親子連れなど約1000人が訪れ、水郡線を走るSLの迫力ある姿に歓声をあげていました。

長寿会女性リーダー研修会に120人が参加

3月16日、中央公民館で石川長寿会(近藤隆会長)主催による平成16年度石川町長寿会女性リーダー研修会が開かれました。この日は、(株)百歳万歳社・植松紀子さんによる「魅力ある老人クラブづくりと各地の老人クラブ女性の活躍」と、福島県老人クラブ連合会・斎藤千恵子さんの「老人クラブ女性リーダーに期待すること」をテーマに講演が行われました。聴講者120人は、先進事例紹介などで、親しみやすい講演に真剣に耳を傾けていました。



全国高校選抜大会へ24人が出場

3月18日、町長室で全国高等学校選抜大会出場選手激励会が開かれました。西牧町長が選手へ激励金の交付、激励の言葉を贈った後、選手を代表して学法石川高校ハンドボール部 高木翔平さんが、小針監督が最後の大会となるので悔いが残らないようにがんばってほしい」と決意表明を行いました。出場選手、開催地は以下のとおりです。

語りとうたで春を花待ちコンサート

3月19日、NPO法人ウエーブゆい主催のうたと語り部の夕べ「花待ちコンサート」が共同福祉施設で開催されました。第1部は、語り部ふくしま四人会代表・穴澤修子さんの「和泉式部伝説」など数本の語りを情緒たっぷりと、第2部はオフリットによるコンサートで、微笑みがえしなど春に元気の出る曲などが披露されました。当日は少し肌寒い日でしたが多くの人が訪れ、一足早く、あたたかい語りや歌声に春を感じていました。

CALENDAR

石川町 5 ~ 6 月の主な予定

街

5 月 May

担当の行政相談員



すずきますお
鈴木益男さん
石川町字新町25-2
☎26-2368

行政相談員は、役所(国、県及び市町村)や公園・公庫、NTTなどの仕事に關しての苦情や意見・要望を受け、相談に応じ、その解決のお手伝いをするものです。相談は無料で、秘密は守られます。すのでお気軽にご相談下さい。本町においては、いつも自宅等で相談に応じています。

行政相談員に
鈴木益男さん

15	在宅当番医	中島病院
16	春の行政相談週間	
17	心配ごと相談(10:00~)	老人福祉センター
18	離乳食教室(9:15~)	保健センター
19	ねんきん相談(郡山社会保険事務所)(10:00~)	勤労青少年ホーム
20		
21		
22	在宅当番医	中島病院
23		
24		
25		
26		
27	交通事故相談(10:00~) 心配ごと相談(10:00~)	中央公民館 老人福祉センター
28		
29	県総体スポ少ソフトボール大会郡大会(8:00~) 在宅当番医	町民グラウンド ふるどのクリニック
30		
31		



たけだしげお
武田繁子さん
石川町大字双里字神主6
☎26-1353



おひらまさこ
大平正慧さん
石川町字塩ノ平195-8
☎26-7560

お気軽にご相談ください
結婚相談員を委嘱

本町では結婚を促進し町の定住人口の増加を図るために、2名の方に結婚相談員としてお願いしています。結婚したくてもなかなか理想の出会いが少ないなど結婚についてお悩みの方はご相談下さい。なお、本年から毎月1回(左記の日程)社会福祉協議会を会場に相談会も行いますのでご利用下さい。

日程	5月17日	6月17日	7月17日
月17日	8月17日	9月16日	10月17日
2月17日	11月17日	12月16日	1月10日
3月17日			

6 月 June

1	人権擁護委員の日 水道週間 ポリオ生ワクチン投与 (12:30~)	保健センター
2	1歳6ヶ月健診(13:00~)	保健センター
3		
4	県高体連ソフトボール大会 男子競技(8:00~)	町民グラウンド
5	中谷地区スポーツ大会 在宅当番医	クリスタルパーク石川 中島病院
6	三種混合(12:30~)	保健センター
7	心配ごと相談(10:00~)	老人福祉センター
8	ひまわり教室(9:30~) 2歳児教室(9:30~)	保健センター 保健センター
9	3~4ヶ月児健診(13:00~) BCG(13:00~)	保健センター 保健センター
10	時の記念日	
11		
12	県民スポーツ大会町予選 (8:00~) 母畑地区スポーツ大会 在宅当番医	町民グラウンド クリスタルパーク石川 中島病院
13		
14		
15		



◀どろんこ広場(南町)に設置された「木製ベンチ」

コミュニティ助成事業で 木製ベンチを整備

町内の公園や遊歩道などに88脚の木製ベンチが設置されました。

この助成事業は、宝くじ普及広報事業の一環として、住民が自主的に行う様々なコミュニティ活動の促進を図るものです。

今回、石川町区長会が、この助成事業を受け設置しました。みんなで大切に使いましょう。

ご ん に ち は

みんなの広場

青春と真中 Q&A



曲木字源平
岩谷 隆行さん
(25歳)

職業
会社員です。

A Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか
町消防団に所属し頑張っています。

A Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください
国際社会に貢献できるように人間になりたいです。

A Q 町政に望むことはなんですか
地元の曲木地区はもちろん町の発展を望みます。

A Q 最後に憧れの人は
ハンマー投げの室伏広治選手です。

今回は、岩谷さんの紹介で
金内 奈津美さんです。

ほのぼの二人三脚 Q&A

住所 / 中田字中野
岩谷 良知さん (79歳)
セツさん (74歳)

A Q お子さんは何人ですか
子どもは5人授かり、孫が7人になりました。

A Q 結婚されて50年、思い出を聞かせてください
私たちは昭和25年4月に結婚。葉タバコ、養蚕、乳牛の農家をしていました。乳牛は朝も早く、家を空けることも出来ずに苦労しましたが、学生などが2週間くらい研修に来るなど、さまざまな人と出会うことが出来ました。現在、家督は息子夫婦に譲り手伝いをする程度でのんびりしています。

A Q 石川町の一番好きなところを教えてください
二本がなからの眺めは絶景です。近隣の花火なども見え、幼い頃は東北本線走る蒸気機関車の煙も見ることが出来ました。

A Q 良知さん 書道です。
セツさん 民謡と三味線です。

A Q 町政に望むことは何ですか
合併、財政問題と課題は山積していますが、石川地方の中心としてリーダーシップをとりたい、人の集まる町づくりをお願いします。

A Q 町政に望むことは何ですか
合併、財政問題と課題は山積していますが、石川地方の中心としてリーダーシップをとりたい、人の集まる町づくりをお願いします。

A Q 町政に望むことは何ですか
合併、財政問題と課題は山積していますが、石川地方の中心としてリーダーシップをとりたい、人の集まる町づくりをお願いします。

A Q 町政に望むことは何ですか
合併、財政問題と課題は山積していますが、石川地方の中心としてリーダーシップをとりたい、人の集まる町づくりをお願いします。

なかよし姉妹です

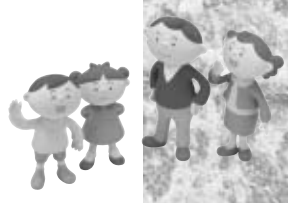


さや
我妻 沙弥ちゃん
平成15年 6月12日生まれ

「小さな天使たちへ。
夢や希望を持ってやさしい女の子になってね！」
ゆうこママより
(立ヶ岡)



まお
我妻 眞緒ちゃん
平成14年 6月23日生まれ



しゅう だん
あつ あた
集 暖
まれば かい

石川FC(フットサル)

▶トップレベルのメンバーは東北大会をめざします



フットサルは少人数で室内でも出来る競技です。体力維持から、競技志向の方

参加してみませんか？

小学生の部から35歳以上の部までレベルに合わせて楽しく仲間づくりをしています。
学生時代サッカーを経験したみんなが集まりはじめはサッカーのクラブとして創立しましたが、おのおの仕事の関係などで、なかなか11人集まるのが困難になり、5人でもできるフットサルに転換しました。

▶真剣な練習風景



◀スピード感のあるシュートシーン

- 連絡先 監督 山崎 登
- 電話 26 2231

自分のレベルに合わせて参加することが出来ます。興味のある方はぜひ参加してください。

私のふるさと

東京都西多摩郡瑞穂町



新屋数字新覚
郷 香さん

あなたの故郷はどんな所ですか

東京都の北西部、西に青梅市、東に武蔵村山市、北は埼玉県狭山市、横田基地と住民が融和した、都心へ近い緑の町、東京都瑞穂町です。

瑞穂町は、都心から電車で約一時間程度の通勤圏ですが、狭山茶やシクラメンの生産が盛んで、緑も多きたいへん住みやすい環境です。米軍の横田飛行場があり、開放される日には見学へ行ったり、クリスマスには華やかな電飾が施されたことを思い出します。

いつ、石川町に来ましたか
平成16年に来ました。

石川町の印象は
空の青や山々の緑、田んぼの黄金色など自然の色と香りが濃く、自然の深さを感じさせられました。

町政に望むことは何ですか
子どもを安心して育てられる、保育環境と教育環境の充実です。

募集案内

みんなの広場では各コーナーに登場していただける方を募集しています。お気軽にご連絡ください。

総務課広報広聴係

☎26-2112

保健センターだより



第2回

体温と食事

私たちの体温は、気温の変化に影響されることなく常に維持されていますが、1日で見ると少しずつ変動しているのです。体温がいちばん低くなるのは午前2時～5時頃で、7時頃から9時頃まで上昇していきます。その後徐々に下がって、午後2時頃から再び上昇して、午後5時～7時に最高に達し、9時頃から下降して午前1時頃にほぼ一定になります。最高温と最低温の差は1℃以内です。

このように、活動が盛んな昼間から夕方にかけて体温が高くなり、体を休めて眠る時には低くなるようにできています。また、日の出とともに体温が上昇し、日の入りとともに体温が下降するという、太陽の出入りとの関係が深いとも言われています。

体温は、食べ物が口に入り消化吸収されてエネルギーを作り出し、そのエネルギーを使って臓器や筋肉などを動かして熱を作り、血液の循環で体全体に熱を送って上昇します。つまり体温を維持するには、食事を取ることが第一条件で、体温が上昇し始める朝ご飯が最も必要なのです。

最近、低体温の人が増えているようです。1日の始まり朝ご飯をきちんと食べて、体温を上げるエネルギーの補給をし、生活のリズムをもう一度振り返ってみることが改善への第1歩です。

福島県

子供の居場所づくり推進事業

～ 中谷子ども教室 ～

中谷地区公民館で行われていた中谷文庫は平成16年度から国からの委託事業「中谷子ども教室」として放課後や週末の子ども達に居場所を提供しています。中谷子どもの居場所づくり実行委員会が運営主体となり、これまで行ってきた文庫活動を継続し読み聞かせや紙芝居などを行うほか中谷地区公民館と連携しながら様々な体験活動を行っています。17年度も子ども達が安全・安心に過ごせる場所として文庫活動のほかスポーツ・文化活動を行ってまいります。



「中谷子ども教室」読み聞かせの様子

町史

編纂室だより 93



石川町史第6巻文化・旧町村史で

こんなことが分かります

石川町史の編纂は町村合併50周年の記念事業です。昭和の合併はスムーズに行ったのでしょうか？

4町村はすんなりと合意しました。しかし2カ村は粉砕しました。その村の事情とは？

石川町最古の仏像はどこにあるのでしょうか？

字大室の薬王寺薬師堂にある、薬師如来像です。その造立の背景は？

石川町最古の住宅はどこにあるのでしょうか？

大字中田にあります。いつの時代までさかのぼるのでしょうか？

石川町は音楽活動が盛んですが、戦後いち早く活動したグループは？

グリーククラブという団体です。どのような人たちが活躍したのでしょうか？

戦前の小学校教員の給料はどこが負担したの？

各市町村です。財政力の弱い町村はどうしたのでしょうか？

郡役所という広域行政機関があったことを知っていますか？

現在の郡は住所表示にのみ使われていますが、大正時代までは郡長以下の役人と郡会という議会があり、大きな権限を持っていました。郡役所と郡会議事堂はどこにあったのでしょうか？

板垣退助が石川町を訪れました。なんの目的でしょうか？

第2回衆議院議員選挙の応援です。応援を受けたのは誰でしょうか？

1家に1冊町史を備え
もっと知ろうよわが町を

町内の書店でも販売中

MEMORY
メモリー
コーナー
CORNER

(平成17年3月1日～3月31日まで届出分 敬称略)



こんにちは
赤ちゃん

氏名	保護者	住所
水野 愛子 (あいこ)	(健一・栄子)	沢井
瀬谷陽加里 (のしかかり)	(寛康・由美子)	沢井
芳賀 哲 (よしあき)	(尚・マイリーン)	塩沢
滝川 翔太 (たきがわ しょうた)	(満男・銭躍弘)	中田
矢島 悠清 (やじま ゆうせい)	(清光・奈津美)	渡里沢
水野 優那 (みずの ゆうな)	(進・弥生)	一ノ沢
水野 乃亜 (みずの のあ)	(真樹・香奈子)	大内
小豆畑 祥 (こまづ しょう)	(仁・優子)	下泉
西牧 海瑛 (さいまぎ かい)	(洋一・直子)	新町



カップル誕生

新郎 新婦 (出身地)

増子 邦彦 (しげこ くにひこ)	(沢井)・須藤久美子 (板橋)
関根 孝幸 (せきね たかゆき)	(沢井)・横田 公子 (須賀川市)
佐藤 章 (さとう しょう)	(中野)・佐久間静香 (泉崎村)
大竹 英明 (おおくち ひろあき)	(下泉)・須藤ゆみ子 (当町)
山田 康志 (やまだ ひろし)	(双里)・関根 緑 (古殿町)



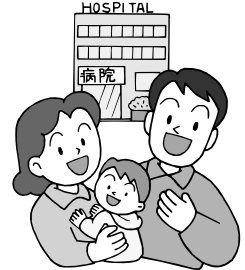
おくやみ

氏名	住所
吉田 ミヨシ	大字新屋敷
吉田 四郎	沢井
桑田 昇	北山
土田 光	下泉
吉田 宏	当町
永瀬 重吉	曲木
瀬谷 マツノ	中田
保住 七郎	石田
緑川 恒雄	板橋
川島 義意	猫啼
瀧口 テル	母畑
永沼 ウメノ	湯郷渡
永沼 チノ	南山形
蛭田 ノル	板橋
添田 八男	湯郷渡
増子 盛	境内
山田 和子	下泉
高木 テルコ	赤羽

国保だより

療養費の支給

次のようなときで費用の全額を支払った場合は、国保に申請すると、保険で認められた部分から一部負担金を除いた額があとで支給されます。



	こんなとき	申請に必要なもの
1	急病など、緊急その他やむを得ない理由で、医療機関に保険証を提出できなかったとき	・診療内容の明細書 ・領収書 ・保険証 ・印かん ・申請請求書
2	骨折、ねんざなどで柔道整復師の施術を受けたとき (国保を取り扱っている柔道整復師の場合には、医療機関と同様に一部負担金で施術が受けられます。)	・施術内容と費用が明細な領収書等 ・保険証 ・印かん ・申請請求書
3	医師が必要と認めた、はり・きゅう・マッサージを受けたとき	・医師の同意書 ・施術内容と費用が明細な領収書等 ・保険証 ・印かん ・申請請求書
4	コルセットなどの治療用補装具を購入したとき。	・補装具を必要とした医師の証明書 ・領収書 ・保険証 ・印かん ・申請請求書
5	輸血のための生血代を負担したとき (親族間は除く)	・医師の理由書か診断書 ・輸血用生血液受領証明書 ・血液提供者の領収書 ・保険証 ・印かん ・申請請求書
6	海外渡航中に国外で治療を受けたとき (治療目的で渡航した場合は対象となりません。)	・診療内容明細書 ・領収証明書 (以上2つには日本語の翻訳文が必要です。) ・保険証 ・印かん ・申請請求書

費用を支払った日の翌日から2年たつと時効となり、支給されません。ご注意ください！

今月の納期 5月25日までに納めましょう
固定資産税 (1期分)



小さな美術館

第218回
母畑小学校

施設の紹介

「本気で学ぶ子」「働く元気な子」「助け合う子」を教育目標に、全校生64名が元気に楽しく学習しています。豊かな自然に囲まれ、地域の方の温かさに包まれ、すくすくと育っている“母畑っ子”です。



森の中にかぶきのこ



「じらぐもにのって



とある
桑沢 徹さん(10歳)

「月夜のきのこ」という話の絵をかきました。暗い森にきのこが浮かび上がるように色や筆使いを工夫しました。



みさき
岡本 美咲さん(7歳)

うわーっ、ふわふわーっ どこへ行きたい? ふくしま空こうこう えーん! じらぐもにのって、えん足だーっ!

編集後記

次世代育成支援行動計画の特集を組みました。

「子供が子どもを産む」という言葉を耳にします。確かに妊娠、出産、育児はみんな初心者ですよね。振り返れば学校での勉強も教科書だけではありませんでした。先生や先輩、同級生など、様々な人たちからいろいろな勉強をしました。本やメディアから受ける情報ばかりでなく、自分が生活している地域や家族など、さまざまな人たちから勉強し子どもと、ちょっと大きな子どもと一緒に成長できればと思います。(吉田知克)

町の人口

4月1日現在住民基本台帳

	18,871人 (-72)
男	9,208人 (-37)
女	9,663人 (-35)
世帯数	5,558戸 (-10)

()内前月比

ふるさとの花だより



ヘビイチゴ(バラ科)

4月~5月ごろ黄色いかわいい花をつける多年草。小さなイチゴのような実ができる。ヘビのいそうな湿った所にあるのでこの名がついたといわれる。

(写真提供/関根政信さん)

表紙の 登場人物

文化幼稚園に通う三瓶理乃さん(中)祖父の征一さん(左)祖母のミツルさん(右)です。



表紙の写真

【左上段】4月4日行われた第2保育所の入所式の様子です。

【右下段】4月6日行われた中谷第一小学校入学式の風景です。